

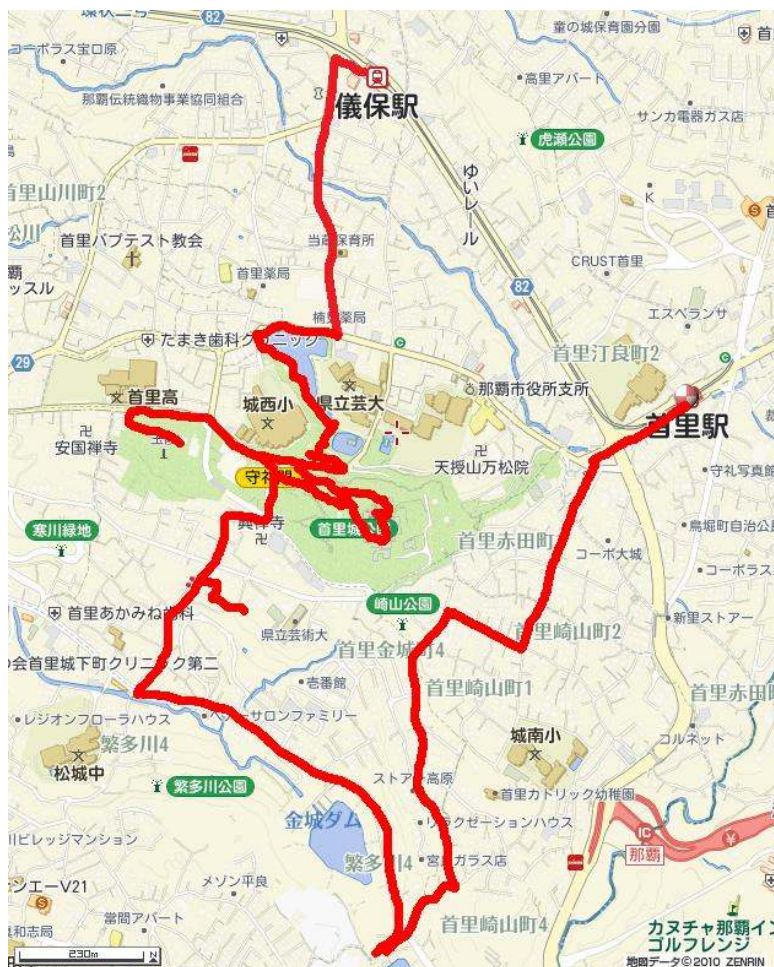
○開催日:2010年2月7日(日) 10:00~16:30

現在、首里城には沢山の観光客が訪れますが、その周辺まで足を運ぶ方は多くありません。

今回は、首里城とその周辺地区を歩き、  
首里の魅力を探りました。

（本企画は旧街道ウォーク「真珠道を歩こう」が強風雨により中止となったため、その代替企画として実施致しました。）

○コース：儀保駅～安谷川御獄～龍潭池～首里城～玉陵（たまうどうん）～金城町石畳道～金城町大アカギ～安里川～金城ダム～ヒジ川橋～識名道～瑞泉酒造～首里駅



歩いたコース(赤字)

○参加者：井手 幸人、大竹 亮、海津 寛子、海津 肇子、栗原 徹、西田 敬、原 久子、平井 志都葉、古里 実  
コーディネーター：松野 栄明（以上、10名）

(評価点の計算: とても良い A=5 点、良い B=3 点、普通 C=1、良くない D=1 とした平均値)

## 1. まちを歩いた全体の評価と感想

評価: AAAAAAAAAABB 【4. 6】

＜A評価コメント＞

- ・石畳の坂道が美しい。NPO や地元自治会の作成による案内板がたくさんあって好感がもてた。
- ・小さな森の信仰空間や墓との共存したまちはとても興味深かった
- ・首里城しか知らなかった首里を包括的に見られた。
- ・首里城周辺の歴史地区の様子が良くわかり、井戸や石垣、坂道なども実体験することができた。
- ・金城町の石畳道、識名道が特に良かったです。さすがは道100選に選ばれただけのことがあるなと感じました。
- ・金城町の石畳道、識名道が特に良かった。

＜B評価コメント＞

- ・首里城だけでなく、周辺の街も非常に魅力的で、独特の風格が感じられる。

- ・首里城の周囲には随所に歴史ある町並みが残されており、首里城の再建によって地域の魅力が深まったように思う。

## 2. 各地区の評価と感想

### (1) 首里城アプローチ(儀保駅～龍潭池)

評価: AAABBBBBBBB 【3. 6】

#### <A評価コメント>

- ・石畳や井戸。首里城に近づく道が単調でなくてよかった。
- ・雨の中であつたが、坂道の石垣が美しかった。安谷川、玉那覇味噌醤油工場、龍潭池など見所も多かった。
- ・個人ではゆいレール首里駅からアプローチしたことしかなかったの、首里城が違った視点から眺められた。
- ・沿道の見所についてNPOのサポートにより案内が設置されているのが良かった。



#### <B評価コメント>

- ・石積みの塀。醤油屋など雰囲気のある通りでした
- ・世界遺産へのアプローチとしては地味だが、沖縄らしい街並みが随所に感じられる。
- ・落ち着いた斜面住宅地に歴史的な雰囲気が漂っていた。井戸や神社(?)もあり、最後に池のほとりから首里城へアプローチしたので臨場感があった。
- ・落ち着いた街並みを感じることが出来ました。
- ・天候のせいもあってか静かで落ち着いた印象でした。

### (2) 首里城内・玉陵(たまうどうん)

評価: AAAAAAAAAA 【5. 0】

#### <A評価コメント>

- ・玉陵は石でできているからなのか整然としていて、心がひきしめる場所でした。
- ・再建された建築群もいいが、特に塀や石垣、玉陵の建造物など、石の存在感が重厚な雰囲気を生み出している。
- ・首里城訪問は2度目だが、書院・鎖之間は以前訪れた時には公開されていなかった。ミュージアムショップも趣味のよいものが多く、徐々に充実させていることが感じられた。玉陵も2度目だが、当然とはいえ内部が見られないのが残念。
- ・すばらしい遺構が立派に保存あるいは復元・再現されている。沖縄の歴史の奥深さ、文化水準の高さを実感した。
- ・戦災、米軍の占領を経たなか、史実に対する復元、維持に対する取り組み姿勢が素晴らしい。公的施設として郷土茶菓子を食べられる喫茶室があり専門員による解説があつたことは、訪問者に対する施設としての魅力から見て良いところである。





- ・予想以上に面白かったです。琉球文化や琉球王国を知ることができてとても良い思い出になりました。
- ・お茶どころでの説明がとても良かった。

<B評価コメント>

- ・首里城は日本にはないイメージの要壁のラインを見るのが楽しかったです。花が植えられよい感じでした。
- ・周辺、龍潭池との道などを書いた看板をたくさん立てたほうがよい。周辺を歩きまわれるという情報が少ないと首里城だけで帰ってしまう。
- ・沖縄戦で破壊されたにもかかわらず、良く復元されていると思う。



**(3)金城町石畳周辺**

評価: AAAAAAAAAA 【5. 0】

<A評価コメント>



- ・南国的に緑溢れ、楽しい道でした。
- ・坂道の石畳がとても美しい。那覇の市街地が見渡せることも素晴らしい。
- ・風情を感じる通りでした。
- ・石畳と階段、起伏のある地形に併せて造られている石積みなど、とても絵になる景観が次々に現れる。
- ・視界が開ける坂道を下り、風情がよい。途中にある茶店もいい感じ。大アカギのそばの内金城嶽で何やら唱えながら一心不乱に拝んでいる人達があり、神妙な雰囲気だった。
- ・急斜面に狭く曲がりくねった坂道が続き、見晴らしも良い。脇道に入ると落ち着いた住宅地になり、緑と花が迎えてくれる。
- ・観光ガイドでは首里城の裏手に位置するなかで簡単にしか触れられていなかったが、首里城地域の歴史文化や伝統的建築物が数多く残されている。魅力的な食事処があり、町歩きから見ても楽しむポイントがある。
- ・街並みがとても素敵でした。特に色とりどりの草花が南国の雰囲気を一層醸し出していて、良かったです。
- ・首里観光の目玉のひとつになるでしょう。

**(4)安里川～金城ダム周辺**

評価: ABBBBB CCCC 【2. 4】

<A評価コメント>

- ・観光では絶対に訪れなさそうなところ。辺りで沖縄特有の亀甲墓を見かけたが、本土の墓とは比べ物にならないほど大きく、玉陵が王室の墓所である割には大した規模でなく見えるほどである。

#### <B評価コメント>

- ・お墓のデザインがとても印象的でした。
- ・ダムは観光向きではありませんが、とても面白かったです。
- ・ダムまでの道は観光向きという訳ではないがなかなか良かった。



#### <C評価コメント>

- ・金城ダムが災害防止目的だけのダムと聞いて意外な感じがした。
- ・金城ダムは、景観に配慮しているが、市街地に巨大な構造物があることには違和感がある。
- ・那覇市内でありながら、急峻な地形の厳しさを実感した。
- ・ダムに至る道は観光ルートとしては整備されていなかったと感じた。

### (5) 識名道～首里駅

評価: AAAABBBBBC 【3. 6】

#### <A評価コメント>

- ・識名道の坂は金城町石畳より急で、石質のせいか雨上がりはつるつる滑り、危険であった。
- ・あの坂道は忘れられません。それから、泡盛の瑞泉酒造で休憩できたのも良かったです。
- ・ダムの上の公園から入って行ったあの坂道は圧倒的だった。



#### <B評価コメント>

- ・雨の中、急な坂の識名道はきつかった。石畳を部分的に残した舗装も雨で滑りやすいことを体験したので納得できた。
- ・瑞泉酒造前の通りが素敵でした。
- ・濡れた石畳はかなり危なかったが、街の景観としては悪くない。瑞泉酒造の前の道の舗装が面白い。



- ・急な石段に閉口したが、雰囲気は良かった。泡盛醸造元付近は、環境に恵まれた石畳の住宅地だった。

#### <C評価コメント>

- ・道路の舗装に工夫があり住宅地としては魅力的であったが、観光向けの回遊ルートとしては顕著な観光史跡はなく、道路内の案内も不十分に感じた。



### 3. まち歩きの中で、最も魅力的だった場所と感想(2カ所まで)

・金城町の石畳: 感想: [雨にぬれた石畳の坂道は風情があり美しかった。

・金城町石畳: 歩きたくなる石畳、特にちょっと曲がったカ所の景観がいい。

・金城町石畳周辺: 石畳と高低さ 大木のパウオースポットがあり楽しい。

・金城町石畳周辺:

・金城町石畳道: 大アカギ前の宗教的な空間と、折しもそこで行われていた講のような行事が印象的だった。

・金城町: あの石畳の風情はとっても良かった。

・首里金城の大アカギ: 地元の方が大アカギに向かい祈り歌っていらしたのが印象的でした。

・金城の大アカギ: 住宅地の中に忽然とある大木群。祈っている人々もいて、非常に神秘的な空間となっている。

・金城町: 石畳と両側の家々が良くマッチしていて、とても良い雰囲気でした。



・首里城: 首里城に入る各門が印象的。

・首里城: 正殿や御庭を囲む建物も立派だったが、その回りの数多くの石段や門、井戸、龍潭池などに趣きを感じた。

・首里城: 再建したお城ではありますが、とても良い造りになっていて、十分楽しむことができました。

・首里城内 書院・鎖之間: 書院・鎖之間それ自体もいいが、更に感激したのは、さんぴん茶と琉球菓子が僅か 300 円で供されていること。往時の雰囲気漂うお部屋で、お菓子は美味しく盛り付けも美しく、カラー写真入りの

詳細なリーフレットが配付されたうえに、琉装の若い女性が呈茶ついでにアナウンサー顔負けの美しい発音で解説までしてくれるのだから、至れり尽くせり「余は満足じゃ」の心境であった。

・首里殿内(レストラン): 門からのアプローチや中庭のある建築空間など、ゆったりと寛げるいい雰囲気の店。食事も美味しかった。

・電信柱の墓の広告: 同族墓であるとはいえ一般人の墓の大きさに驚いたが、墓という字がデカデカと書かれた広告を見て、「うちなーんちゅ”のお墓に対するコンセプトは本土の者とは違うのだらうと認識するに至った。

・識名道: 山道はすごかった。

### 4. 首里の町をより魅力的にする方策についての提言・アイデアについて

・首里城に、周辺の龍潭池との道などを書いた看板をたくさん立てたほうがよい。周辺を歩きまわれるという情報が少ないと首里城だけで帰ってしまう。

・よくお城などにいるボランティアガイドさんを見かけませんでしたが、ガイドさんと歩くも企画してはいかがでしょうか(有

償でよいと思います)。

- ・既に取り組んでいる NPO や地元自治会の活動をもっと情報発信すること。
- ・あまり新しい観光施設などを設けないことではないかと思います。
- ・現状でも十分に魅力的なので、景観が壊されないような方策を講じるべき。粋なカフェなどちょっと休めるところが、もう少しあるといいと思う。
- ・那覇に比べ高級感と落ち着きがあるので、あまり変なものを付け加えず、この雰囲気を変えないことが大事に思う。
- ・首里城などの歴史資源や石畳道、豊かな緑などはとてもいいが、沿道の建物に新しいコンクリート造住宅が多く、歴史的景観とあまり調和していない。既存建物の修景の方法を普及し、町並みが整ってくると非常に魅力的になると思う
- ・多くの観光客は短期滞在ツアー等の場合、首里城のみを見て他の観光地を回るコースになっていると思われる。滞在型により時間に余裕のあるニーズに対して首里城周辺の観光コースとしての発掘を進めることも有効と思われる。
- ・車で首里城に来る観光客が多いので、歩いて街並みを見て歩くのも楽しいことを観光客にアナウンスできるといいなと思いました。また、首里城でお茶をした際、古典的な御菓子をいただきましたが、喫茶エリアでいただいた御菓子が首里城近辺で販売していたら良かったなと思いました。

##### 5. 首里城だけを見て帰る観光客に幅広い首里の魅力を伝える方策や、周辺部に足をのばさせるアイデアについて

- ・看板による情報提供を増やす(情報不足): 首里城に、周辺の龍潭池との道などを書いた看板をたくさん立てたほうがよい。周辺を歩きまわられるという情報が少ないと首里城だけで帰ってしまう
- ・PR不足: 観光ガイドブックにあまりでていない。石畳を歩くイベントなどを催し盛り上げる。空港降りたときにポスターなど(ここはどこかと思わせる石畳の写真など)。
- ・ガイドの活用: よくお城などにいるボランティアガイドさんを見かけませんでしたがガイドさんと歩くも企画してはいいがでしょう(有償でよいと思います)。
- ・パーキングとの連動: 金城石畳 沖縄全体が車客が多い。石畳を降りてしまうとパーキングに戻るのがめんどろな人や体力的にきつい人のために、土日だけでも要所からパーキングへピストン輸送する車がほしい
- ・横浜などにある2輪車タクシーで周辺回るのも楽しい
- ・手すり
- ・石畳のある静かなエリアの宿 沖縄の街だとビジネスホテルに泊まり風情のないイメージ 古い民家再生レストランがあったので、古民家の宿がほしい。
- ・起伏に富み、歴史的資源も景観資源も多い地域であることから、モノレールの駅やバス停などからの散策コースを地元 NPO や観光ボランティアなどと連携して案内する仕組みを作ってみてはどうか。



- ・幾つかのテーマを設定し周辺を巡るマップの整備と休憩所(トイレ等)の整備。
- ・今の交通条件では、首里城の観光客が金城町石畳などに行くのは、歩行距離が長すぎるので難しい。金城ダムの

側にLRTなどが通れば、金城町石畳などを通り抜けるルートが成立するかもしれない。

- ・無理に観光客を誘導しないで、知る人ぞ知る魅力スポットでいいのでは。
- ・散策マップをつくる。ただし坂道が多かったり、石畳が結構すべるので、年配者には不向きかも。琉球料理のお店があるように、琉球茶・菓子・果物などの喫茶店も首里城以外にももっとあると思う。
- ・歴史的な資源は多いので、正確で美しく見やすく分かりやすいマップ(現在のマップは不正確)を作成し、随所で配布したり、路傍に案内板を建てたりすると思う。また、昼食をとった首里殿内(博物館併設)や休憩した瑞泉酒造(泡盛醸造元)のような魅力スポットがもっと点在すると面白くなる。
- ・短期旅行のツアーバスでなく、自由行動型によりモノレールを軸とした散策プランを提案する。モノレール各駅からの散策コースをよりPRするなど。
- ・モノレールがカバーするエリアは限られており、モノレールと路線バスの連携が運賃、運行ダイヤ、乗客案内の各面で不十分なので、現状では公共交通のみの観光展開は限られると思われる。モノレールと路線バスの共通利用を可能にする割引切符やフリーパスを発売してみてどうか。
- ・色々なパンフレットを地域の方や市役所でも作成しているようですが、空港周辺では首里城近辺の歴史散策マップを目にしませんでした。こういったところにマップ・パンフレットを置くのもひとつの方法ではないかと思います。また、個人で行くとき、事前にネット等で情報収集をするのですが、なかなか良い情報を得ることができないのがいつも残念です。市役所って紙媒体で資料を作る割に、あまりこういったデータを市のホームページに掲載していないんですよ(私の勤務している市でもその傾向がありますが...)。近年ネットにより情報収集する人が増加しているので、紙媒体でマップを作成する際のデータをサイトに掲載するだけでも、観光客にはアナウンス効果があるのではないかな、と思います。

### 【3】全体を通じてのご意見、ご感想等

- ・たいへんよい企画でありありがとうございました。街の歴史的背景が把握でき勉強になりました。沖縄というリゾート 戦争、基地の町、首里城のイメージが強く、また悲惨な戦争の後をみるのも思いなかなか訪ずれる機会がありませんでした。また人々の住居や普通の人の生活をビジュアルとして意識したことがありませんでした。今回、東京にはあまりない花ブロックのRCの家、琉球石灰石、そしてアジア的な市場、言語、お墓と・想像以上に、日本ではなく中国や韓国やアジアが交じり合った沖縄独特の生活や街があるのだと気づかされました。さらに懇親会では、沖縄に住む方々の生の意見交換ができたことも新鮮でした。よい機会を与えていただきありがとうございました。また不思議な雰囲気のある那覇にいてみたいと思いました。(H. H)
- ・楽しいことは継続されます。歩いて楽しいまちがあることは住んでも訪れても嬉しい事です。まちに魅力があればみんな歩きます。今回地元を歩いて多くの再発見がありました。身の丈にあった規模や内容で歩いて、楽しく都市計画や景観形成、あるいは地域振興が学べる活動を、自分も近いうちに企画したいなと考えているところです。あと、なんと言っても目的を共有したもの同士での懇親会は格別でした。これからもこのような有意義な機会づくりを宜し





くお願いします。(N. F)

・また、機会がりましたら参加させてください。(O. I)

・那覇と首里の魅力と歴史を2日間でコンパクトかつ十分に体験できる企画でした。都市モノレールフリー乗車券を有効に使えたのも良かったと思います。公共交通と徒歩でこれほど那覇の街の魅力を堪能できましたのも、ご案内いただいた松野さんをはじめ沖縄の風景を愛さる会の皆さんの御陰です。本当にありがとうございました。(F. M)



・初めて那覇のまちを歩いて、印象的であったのが、まちの風景となっている圧倒的な量のRC造の建物であった。特に、外階段取り付け方法とデザインが印象に残った。(I. Y)

・天候の影響で2日目は予定が変わりましたが、2日ともとても充実した街歩きだったと思います。沖縄に来たのは2回目ですが、那覇をじっくり歩いたのは初めてであり、各々の地域の歴史などの説明があったので、街の魅力がもっと深いものになったと思います。(K. T)

・今回の企画がとてもよかったので、自分もこれからいろいろ地区を歩いてみたいと思い始めた。どうもありがとうございました。(S. S)

・久しぶりに地元を街歩きしてみて、こんなにも多くの顔を持ったまちなんだと再認識させられました。また、我がまちに対する新たな想いもわきあがってきました。わずかな時間の流れの中で変わってゆくところも多く、気付いたときに何とかなくてという想いも強くなりました。本土から来られたみなさんの話の中にも、新たに気付かされることも多く、大変有意義な1日でした。(T. T)

・那覇は昨年12月にも行ったばかりでしたので、遠方でお金もかかることでしたし迷いましたが、個人で行こうとは思わない tekuteku ならではのコースで、やはり参加して正解でした。松野さんがお仕事柄とはいえ、わずか半年の沖縄暮らしでこれだけ現地を勉強され充実した企画を立てられたことには感心しきりで、深く感謝しております。ただ、まだ暑かった12月の印象からは、2月のこの寒さにはたまげました。この季節はお天気もよくないことが多いので、次回は多少実施日をずらした方がよいかもしれません(夏はきついですが)。沖縄は、本土のどの地方とも異なり、今でもある意味外国のようです。それだけに観光資源は豊富で独自性も高いので、首里城と国際通り、マリンスポーツとリゾートホテル、ひめゆりと米軍基地以外の沖縄也大いに知られて欲しいと思いました。(H. S)

・今回は、まち歩き活動体 tekuteku、旧街道ウォーク、そして地元のNPO「沖縄の風景を愛さる会」とのコラボレーションでしたが、参加者は全部で25名、うち東京方面から11名、地元14名という混成部隊になり、特にディスカッションでは内部外部の視点が交錯してとても興味深かったです。土曜日は、全く知らなかった那覇の歴史を訪ね歩いてたくさんの発見があり、日曜日は、あいにくの雨でしたが臨機応変な予備企画で、首里のまち歩きを十分に楽しむことができました。琉球大学の池田先生には、私自身、本当に久しぶりにお会いでき、じっくりとお話を伺うことができ、とてもうれしかったです。また、地元から、NPO、市役所、留学生などたくさんの方が参加されて、一緒に歩き、熱心に議論できたのも、池田先生を中心とした都市計画、まちづくり活動の広がりとおかげだと実感しました。沖縄の都市や建築は、他の地域とは異なる条件や事情が多いと思いますが、全国一律の制度を上手く使いこなして、特色あるまちづくりを進めている現場も拝見でき、大変有意義でした。遠くまで行った甲斐が十分ありました。松野さん、企画コーディネートを本当にありがとうございました。また来年、沖縄を歩きたいですね！



(O. R)

- ・今回はお誘いいただき、ありがとうございました。個人的には、知っているようで知らない那覇を発見できた大変楽しい企画でした。どうもありがとうございました。本土からのメンバーも多くいらっしゃいましたので、時間的制約がありましたが、本来は1日だけで巡るのは勿体ないコースだと思います。そういった意味では、本土の方には、また来沖していただけるよう、(個人的にも)次の機会も期待しております。(H. M)
- ・変わりゆく那覇の街を体感でき、大変有意義な時間を過ごせました。説明も簡潔でわかりやすく勉強になりました。点としての魅力をどう繋げていくか、新たな魅力づくりの発見のヒントになるものと思います。(H. S)
- ・配布された資料が非常に充実していてとても有難かったです。観光客として訪れていたら絶対知ることができない街の歴史を知ることが出来ました。また、街づくりの専門の方が多いこの会に参加し、「こんな見方もあるのか」と感じることがとても多く、大変勉強になりました。準備をしてくださった松野さん、協力してくださった地元の方々及び那覇市職員の方々に大変感謝しています。我々素人母娘に暖かく接してくださり、有難うございました。(K. T)
- ・配布された資料が非常に充実していて感激しました。ただの観光客として訪れていたら絶対知ることができない(目を向けることがない)多くのことを学ぶことができました。準備をしてくださった松野さん、協力してくださった地元の方々に厚くお礼申し上げます。(K. H)
- ・今回、実際に歩いてみて楽しかった。身近で「ふつう」になってしまっている那覇を、久しぶりに謳歌した感じがある。改めて、場の新鮮さや地域の魅力(営みのたくましさ等)を感じ、土地の記憶に自らの体験や思いを重ねました。昭和30年、40年代の風景が残っている。まちが懐かしい、心が和む、という県外からの声があったが、こうした「営みの表出、以前の土地とのつながり」を、まちあるきを通して実感できる沖縄のまちを、地域性の現れとして地元が意識して、発信し続ける必要があると思いました。(A. N)
- ・他県の方とご一緒できたことがよかった。専門家の方の専門的なお話が聞けたことがよかった。今度は自分自身で説明して歩けるようになりたいと思った。もっとほかの地域も歩いてみたかった。グループに分かれて写真をとるなど、少しペースダウンしたじっくり街歩きも今後必要だと思った。(O. S)

## (コーディネーターより)

- ・本企画はまち歩きグループ「Teku-Teku」／「旧街道ウォーク」と、NPO 沖縄風愛会とのコラボ企画として実施しました。初日の那覇企画には、東京方面からの参加が11名、地元からの参加が13名という盛況を見せ、ミニ座談会や懇親会也大いに盛り上がりました。
- ・2日目は、大雨と強風のため予定していた「真珠道を歩こう」の実施を断念し、急遽、首里のまち歩きに企画変更しました。午後からは幸いにも小雨になりましたが、最悪のコンディションだったにもかかわらず那覇企画以上の高評価となりました。
- ・沖縄には独特の歴史があり、戦争で壊滅的な破壊を受けたにもかかわらず人々は逞しく陽気に暮らしています。今回の企画には、青い海も暖かい気候もありませんでした。参加者の皆さんには重層的な那覇の魅力を感じて頂けたようでとてもうれしく思っております。ただ、その魅力もけっこう脆弱な基盤上にあると私自身としては感じました。今後、画一化の波に抗えきれぬかどうかは、これからの十年間の町づくりで決まってくるような気がしています。
- ・また、Teku-Teku のコーディネーター役を行うのは今回が初めてでしたが、とても楽しい経験でした。いろいろ

な所をまわりたかったので、非常に駆け足のコース設定になってしまいましたが、それでも泣く泣くコースから切ったエリアもあります。那覇にお立ち寄りの際、お時間があれば是非ご連絡下さい。今回行けなかった場所にもご案内したいと思います。

・最後に、当企画にご協力いただきました那覇市の皆さん、どうもありがとうございました(松野栄明)。

